

近畿府縣町村長大會

◎日時 昭和七年八月十七日午前十時—午后三時

◎場所 大阪市中央公會堂

◎出席者 千三百十五名

◎司會者 大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山、滋賀各府縣町村長會長

◎開會ノ辭 大阪府町村長會長

富岡治郎（泉北郡鳳町長）

◎座長

◎議事

一 宣言

滋賀縣町村會長平塚分四郎（彦根町長）ガ宣言案ヲ朗讀シタ  
後該案ハ滿場一致ニテ可決

宣言

我全國町村團體ハ比年ノ不況ニ毒サレ疲弊困憊其ノ極ニ達シ今  
ヤ座シテ死ヲ待ツノ現況ニアリ之レガ救済ニ關シ政府並ニ政黨  
ニ懇請セシコト指ヲ屈スルニ逼アラズ今政府ノ掲グル對策ヲ檢  
討スルニ恰モ羊頭狗肉ニ均シク階上眼藥ニ類シ嗚然言フ所ヲ知  
ラズ

農村ニ於ケル主要農産物價ハ極度ニ低下シ其ノ他一般生産物ハ  
殆ンド無價値ニ均シク中小商工階級ハ全然資金ノ缺乏ニ苦ミ何  
レモ一家悉ク食ヲ失ヒ負債ハ愈々嵩ミテ債鬼ノ釜中ニ懊惱シ公  
課失費八月ニ年ニ重壓ヲ加ヘ金融機關ハ破産梗塞ニ陥リ國家ノ  
中堅タル之等國民ハ今ヤ金ヲ死ノ線上ニ彷徨シ悲愴之ヨリ甚ダ  
シキハナシ借問ス政府果シテ今時ノ國民生活ノ實情ヲ見ルノ明  
アルヤ如何

今政府ノ決定セリト云フ非常時匡救對策ヲ熟賭スルニ其ノ財源